

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------|----|---------------|
| ○事業所名 | かぶこキッズ支援スクール三原 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 12月 1日 | | 2025年 12月 21日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 14 | (回答者数) 13 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 12月 1日 | | 2025年 12月 21日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8 | (回答者数) 8 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 1月 16日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援を行っている。 | 個別支援計画の目標を職員間で共有、把握し、計画と支援にずれがないか確認しながら子どもに接しています。 | 目標を達成できるように、ひとりひとりの発達段階や特性に合わせ、手立てを考え環境づくりを行っています。 |
| 2 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の配慮をしている。 | 意思の疎通が難しい場合は、絵カードや写真、実物を見せる、手ぶり等でコミュニケーションをとっています。保護者の方とはSNSの活用もしています。 | わかりやすい表記や説明、手段での情報伝達を心がけます。 |
| 3 | 子どもが、安心感をもち通所を楽しみにしてくれている。 | 楽しく過ごせるように活動内容を工夫し、個々のペースに合わせ、マンネリ化しないようにしています。支援員が笑顔で声掛けを行い、子どもたちの不安感や緊張感をやわらげ、安心して通所できるように努めています。 | 各季節に合わせた活動や外出の機会を設け、日常の活動をイベント化していきます。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもとの活動の機会をもてていない。 | 交流を持てる行事が少ない、また行われていても日程が合わなかったりします。 | 地域の行事やイベントの情報収集をしたり、事業所のことを知ってもらおうにします。 |
| 2 | 家族に対する研修会、情報提供の機会、保護者同士のつながりが少ない。 | 保護者が集まる機会が少なく、茶話会などを企画しても仕事の都合や感染症の心配もあり参加人数が少ないです。 | 茶話会などの企画を積極的に、且つ早めに行うことで多くの参加を募るようにします。 |
| 3 | | | |